

和み

第5号 2007.5

発行:滋賀県立リハビリテーションセンター
〒524-8524 守山市守山5丁目4-30

(成人病センター内)

TEL:077-582-8157 FAX:077-582-5726

HP:http://www.pref.shiga.jp/e/rehabili/

『歌を忘れてカナリアが…』 声楽コンサート 歌声響き、うっとり♪

去る3月6日に、武蔵野音楽大学講師の原口隆一先生をお招きし、声楽コンサートと講演会を開催しました。

脳梗塞による失語症で声楽家の命というべき「言葉」を失われるも、ご家族の力強い支えのなか目標を持ち続け、再び声楽家として第一線で活躍されている原口先生の素晴らしい歌声に、すべての参加者が魅了されました。片麻痺の当事者の方々が懸命に麻痺の残る上肢を動かして力強く拍手をされる姿が印象的でした。

第2部の講演では、失語症による喪失体験、孤独地獄の中、同病者同士の支え合いは何よりの救いであったことを話され「同病、相憐れむ」だけでなく互いの苦しみを理解できるからこそ「同病、相励まし合おう」と繰り返し呼びかけられました。参加者の多くの方がうなずき、共感されていることが伝わってきました。高齢になっても、障害があっても、生きがいを持ち続けながらその人らしく生きていくことの素晴らしさ、そしてそれを支えていくことの大切さと難しさを改めて考えさせられました。(みやした OT)



第1回開催

参加者270名!

滋賀県連携リハビリテーション学会

世代や領域を超えた連携～これから期待される地域リハビリテーション～

保健・医療・福祉・教育・職業リハビリテーション関係者とその当事者や家族が一堂に会し、講演、シンポジウム、一般演題、機器展示を通して新たな知識の蓄積と他領域のリハビリテーションの現状と課題について理解を深め、質の高い活動へ発展することを目的に、滋賀県では初めて多職種による研究大会が開催されました。

基調講演は日本リハビリテーション病院・施設協会会長小倉リハビリテーション病院院長浜村明德先生から「これからの地域リハビリテーション」と題し、地域に根ざした医療と地域リハビリテーションの活動について、先生の経験や病院の役割・課題まで、幅広い話を聞かせていただきました。



シンポジウムは「医療・教育・職業・社会的リハビリテーションの現状と今後の連携のあり方」をテーマとして、それぞれの現場で活動されている方々からの報告と、それについてのディスカッションがありました。フロアから活発な発言もあり、シンポジストだけでなく参加者全員の「連携を築き上げないと・・・」という思いを強く感じました。

口述発表18演題、ポスター発表6演題が行われた一般演題では、当事者・その家族、多職種の方が参加されていることで、一般の研究大会とはまた一味違った暖かな雰囲気がありました。参加者各々は働いている現場や職種、役割が異なっても、地域でみんな同じように不安や課題を抱きながら地域リハビリテーションに携わっていることを改めて知ることができました。

これからもこの研究大会が参加者同士が悩みを共有し、そして互いの活動にエールを送りあう、そんな場になることを期待しております。(協力委員 おくむら)



湖北地域リハビリテーション 広域支援センター

琵琶湖の北、長浜市内にある長浜赤十字病院内に、平成16年1月に滋賀県で1番目の広域支援センターが開設されました。(現在は県内に5つあります。)ここではリハビリテーションに関する様々な支援を行っていますが、今回は虎姫町の認知症予防教室「ゆ〜楽会」への支援を取材してきました。参加者の皆さんは、「物忘れ」のことや自分の体のことに少なからず不安を抱えている方です。しかし、教室では頭と体を生き生きと保つために、皆さん自ら「楽しもう」という姿勢が印象的で、教室中におしゃべりと笑顔が溢れていました。病院とは少し雰囲気の違い「リハビリテーション」ですが、他にも手工芸やお料理、勉強会などを行い、計画から参加者の皆さんが携わり、活動全体を通じた予防のためのリハビリをされています。広域支援センターはこうした市町の事業やリハビリテーションを実施している関係機関の従事者に支援を行い、障害を持つ人々や高齢者及びそのご家族が、住み慣れた家や地域で安心して生活が送れるように「地域リハビリテーション」の考えのもとで様々な活動をしています。湖北地域でリハビリに困っていたり悩んでいた時、一緒に考えてくれる強い味方だと感じました。また、お近くの広域支援センターへ連絡してみてもはいかがでしょうか？

HP : http://www.nagahama.jrc.or.jp/kohoku_tiiki_riha/
TEL/FAX : 0749-68-3395 (おおえ PT)



生駒OTさんと林PTさん
(たのしいお2人でした。)



ゆ〜楽会のレクリエーションの様子

お知らせ



4月より滋賀県立成人病センターリハビリテーション科に、新しく「川上寿一」先生が赴任されました。

脳卒中後遺症はもちろんリハビリテーション全般を通じた日本リハビリテーション医学会専門医です。

(先生より一言)

「まだ不慣れですが、地域連携の充実を目指して努力したいと思います！」

外来診療のご案内

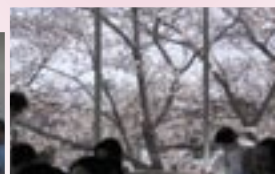
月	火	水	木	金
川上 吉田	川上	新里	新里 吉田	吉田

お問い合わせは、TEL 077-582-9710

お花見をしました

リハビリテーション科病棟では、病棟で過ごされている方々の訓練以外の時間を交流や活動を通して、リフレッシュしていただけるような時間作りを目的に、毎週木曜日に『よかさろん』を設けています。

4月5日はお昼休みを利用してお花見弁当を食べながら桜の観賞をしました。食後は外に散歩に出かけ、桜の木々を愛でながら外の空気を思いっきり吸うことができました。今後もささやかながらお楽しみ企画を考えていきたいと思っています(*^_^*) (わたなべCP)



お花見の様子です



滋賀県内のちよっぴリハビリ ご案内

日時・場所	タイトル・内容
H19年6月21日(木) 13:30~15:30 リハビリテーション センター研修室	NO'S会 (高次脳機能障害当事者の交流会) 「参加者みんなが主役」を合言葉に皆で交流会を作っています。おいでませ! 詳しくはリハビリテーションセンター相談支援担当者へ
H19年7月10日(火) (湖南)草津市立市民交流 プラザ13:00~15:00 (湖東・湖北)文化産業交流 会館 16:30~19:00	地域リハビリテーション講演会 「生きるエネルギーを再生産する~あるデイサービスの実践(仮)」 藤原 茂氏 (夢の湖村代表 作業療法士) 詳しくは草津・彦根・長浜保健所の保健福祉課へ ※講演内容は同じです。
H19年7月14日(土) 栗東芸術会館さきら 13:30~15:45	第22回滋賀県理学療法学会市民公開講座 「スポーツにおける身体の使い方」 小田伸午氏 (京大高等教育開発推進センター 教授)
H19年 5月20日~10月28日 県内各所で開催中	滋賀県身体障害者スポーツ大会 陸上、フライングディスク、ボウリング、アーチェリー、水泳、卓球が行われます。 詳しくは各市町障害福祉担当課へ

編集後記

H18年度の「リハビリテーションセンター」初の報告書ができあがりました。今年度も報告できるような活動を皆でがんばっていきなさいと思っています。コーナーも少しずつ変えていきますので、感想をきかせて下さい!(大泣)

知ってた? しとこ ユニバーサルデザイン

名前 プニョプニョピン (コクヨ)
針先にシリコン製のカバーがついている押しピンです。

実際に使ってみるとつまみ部分が小さく持ちにくい、さしにくい感じですが、抜くときにはカバーを引っ張ることで楽に抜くことができました。試した患者さんからは、「針がみえにくいのでかえって危ないのでは?」という意見もありましたが、細かな物が見えにくい人や子供が間違えて指先を指してしまうことが防げたり、踏んでも針が刺さりにくく安全だと思います。(ぱくPT)

